

パブリックコメントの内容および市の検討結果～公共施設の適正配置等に関する基本計画(素案)～

意見概要		市の検討結果
本庁舎・出張所		
020	市役所も多くの人が行きやすい距離にあってほしい。市の中心部に、一つと言わず複数あってほしい。	本庁舎については統合整備を検討していきますが、出張所も含めた窓口サービスの拠点については、自動交付機等のサービスの状況も勘案しながら、利便性に配慮して検討してまいります。
021	本庁舎について、市民の窓口に対する苦情等のデメリットが挙げられているが、テレビ会議等の発達した設備の活用等、やる気さえあればすぐ解決するはずで、わざと不便にして1庁舎体制への誘導をしているように思う。	2庁舎体制のデメリットとして挙げた窓口に対する苦情等については、様々な要因があると考えておりますが、市民サービスの向上を図るため、これまでも窓口のワンストップ化など、改善に努めてきたことをご理解ください。本庁舎の問題につきましては、市民サービスや利便性の向上に配慮しながら検討してまいります。
022	本庁舎について、将来的には老朽化もあり統合も検討することだとは思いますが、市民に開かれた十分な意見集約を図る必要がある。	本庁舎の老朽化は、既に進行している課題であり、今や「将来的」な課題とは言えない状況にあることを認識していただく必要があります。本庁舎統合整備は、検討開始から事業完了までに相当の期間を要するものと想定されることも踏まえ、検討の具体化を進めていく必要があるものと考えています。
023	本庁舎について、安易に田無庁舎に統合することは避けてほしい。旧保谷地域の市民にとって不便になる。 【3件】 本庁舎の統合については、交通の利便性等から田無庁舎の位置が最適と考える。 【3件】	今後、本計画に基づき、現在の田無庁舎の用地、現在の保谷庁舎の用地、他の新たな用地の3つの方向性について、これまでの調査・研究の内容を精査しつつ、各パターンのメリット・デメリットの詳細分析等を行っていく中で、いただいたご意見も参考とさせていただきます。
024	保谷庁舎は、近々に直下型地震が起ると予知されている現在、早急に使用制限を実行すべきである。	保谷庁舎は、平成7年度に耐震診断を実施し、診断結果に応じて平成8・9年度に耐震改修工事を行いました。現在は施設の使用停止を検討するような危険性の高い状況にはないものと認識しています。
025	本庁舎について、現田無庁舎とその関連施設の敷地を見直し、庁舎・図書館・公民館・市民ホールを一体化し、現施設敷地で総合計画を行って整備し、その後、災害に強い安全な場所（候補地としては北原三丁目付近または谷戸小学校および南側に隣接する東大農場処分地）を新規に選定し総合新計画として整備することが望ましい。 保谷庁舎の跡地利用としては、防災公園または農業公園への転換、民間売却、近代的なモデルハウジングエリアの整備等が考えられる。	今後、本計画に基づき、具体的な検討を進めていく中で、いただいたご意見も参考とさせていただきます。
026	本庁舎について、東大農場に総合庁舎の建設を考えているやに聞くと、広域避難場所でもある東大農場は、次世代にこのまま贈り物とすることが一番である。	今後、本計画に基づき、具体的な検討を進めていく中で、いただいたご意見も参考とさせていただきます。